# 関門海峡ミュージアム魅力向上のための基本計画（案）

平成２９年３月

福　岡　県
北九州市

目次

I. 施設の方向性 ..... 2
1．計画の目的 ..... 2
2．施設を取り巻く環境の整理 ..... 4
（1）関連計画の整理 ..... 4
（2）門司港レトロ地区における観光資源の課題 ..... 5
3．施設の考え方 ..... 9
（1）基本方針 ..... 9
（2）リニューアルのコンセプト ..... 10
（3）リニューアルの方向性 ..... 11
（4）集客の考え方 ..... 11
II. 各ゾーンの魅力向上方策 ..... 12
1．展示計画 ..... 12
（1）現施設評価 ..... 12
（2）リニューアル計画 ..... 13
2．各ゾーンの魅力向上方策 ..... 15
（1）【1階】　エントランス ..... 15
（2）【4階・展望台】　プロムナードデッキ ..... 16
（3）海峡アトリウム ..... 17
（4）【3階】　海峡歴史回廊 ..... 22
（5）【2階】　海峡体験ゾーン ..... 23
（6）【1階・2階】　海峡レトロ通り ..... 26
（7）【1階】多目的ホール ..... 27
（8）【5階】レストラン ..... 27
（9）海峡こども広場 ..... 28
（10）玄関前広場、建物外観 ..... 29
III. 周辺の魅力向上方策 ..... 30
1．周辺の魅力向上方策の基本的考え方 ..... 30
IV. 管理運営計画 ..... 32
1．運営の基本的考え方 ..... 32
（1）運営の基本的考え方 ..... 32
（2）広報方策・集客目標 ..... 32
（3）企画展、イベント等の開催による魅力向上 ..... 33
（4）市民の協力・連携 ..... 34
（5）外国人観光客の利用促進 ..... 34
（6）誰もが利用しやすいバリアフリーの向上 ..... 34
（7）設備・機材の保守管理・更新 ..... 35
（8）民間の管理運営手法の導入 ..... 36

# Ⅰ. 施設の方向性

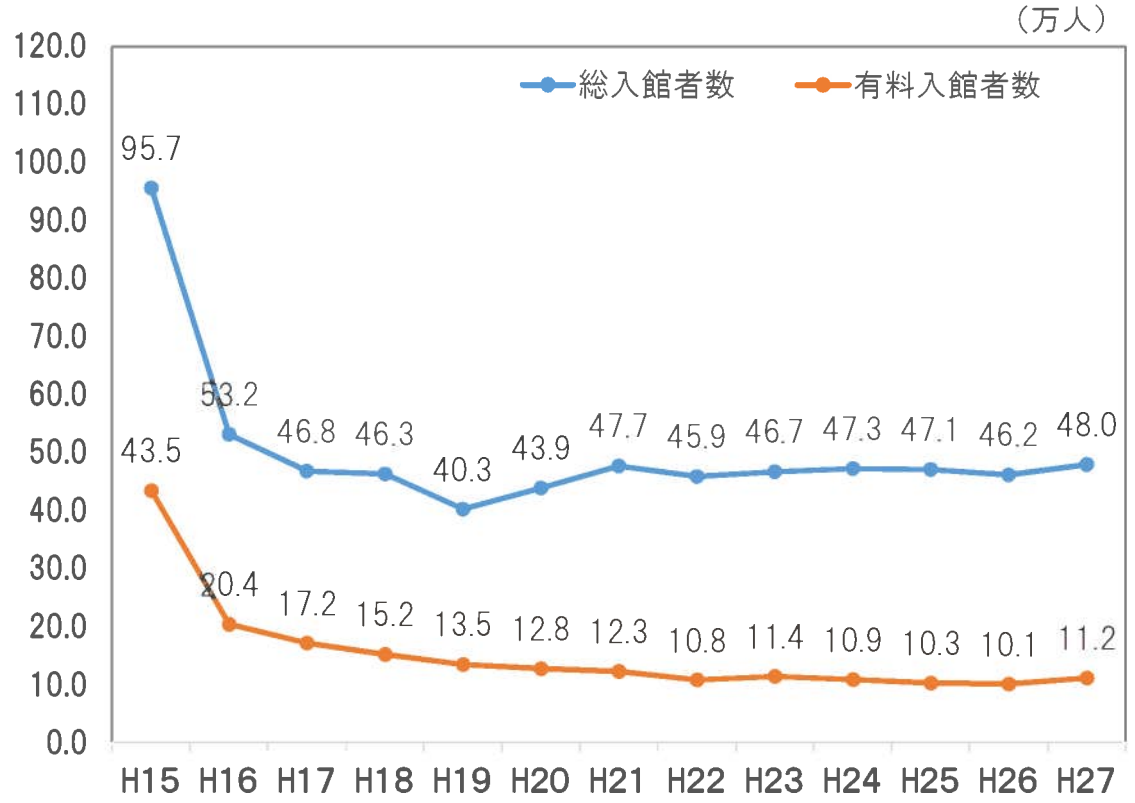
## １．計画の目的

関門海峡は、福岡県、北九州市が誇る観光資源であり、数々の歴史の舞台となった文化資源でもあります。海峡にまつわる歴史や文化、自然を伝える施設として、平成１５年４月に関門海峡ミュージアムは開館しました。関門海峡ミュージアムの入館者数は、毎年約４０万人を超え、門司港レトロ地区も毎年２００万人以上が訪れる九州を代表する観光地となりました。

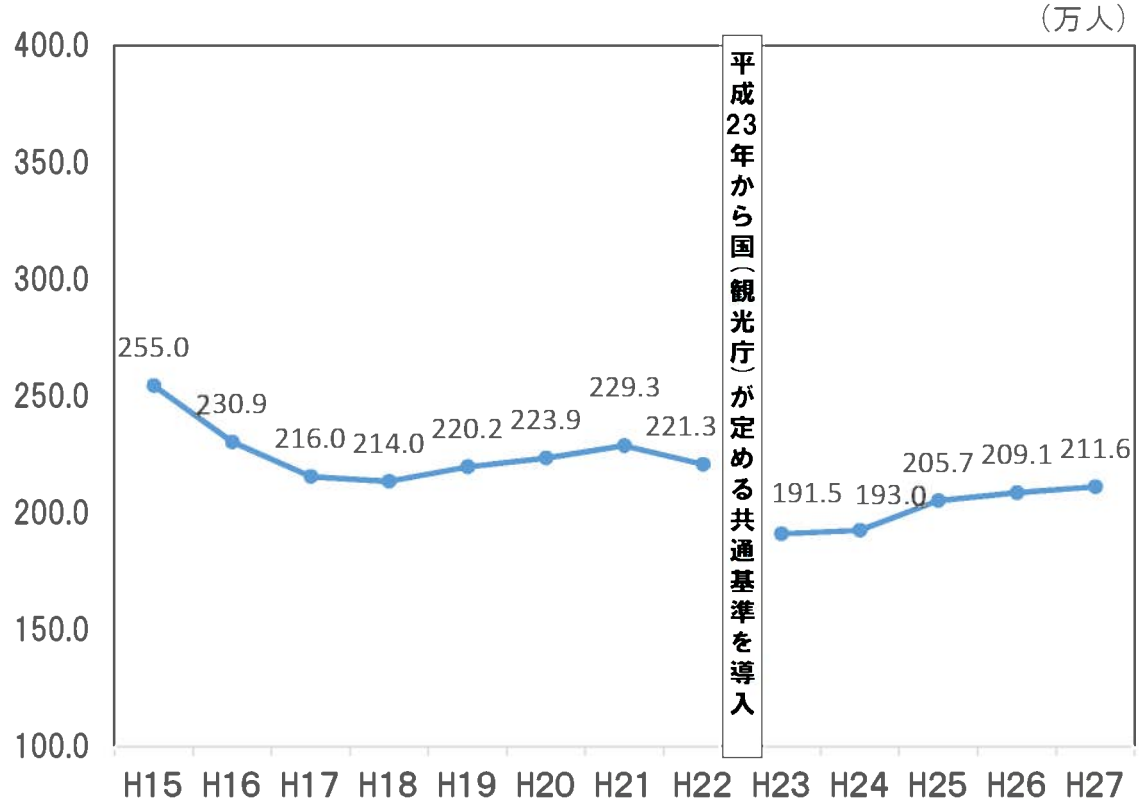
開館から１３年が経過し、関門海峡ミュージアムの入館者は、門司港レトロ地区の施設の中では最大の集客があるものの、有料入館者数は開館時の４３万５千人から近年は約１０万人で推移しています。このため、福岡県と北九州市は、平成２７年度に有識者会議を設置し、関門海峡ミュージアムの魅力向上方策を検討してまいりました。

本計画は、有識者会議の意見を踏まえ、関門海峡ミュージアムが関門地域の活性化のための拠点としての役割を果たすことができるよう、目指すべき施設の方向性とそのために必要な機能、施設整備の在り方を示すものです。

参考：関門海峡ミュージアム入館者数




参考：門司港レトロ地区観光客数




出典：北九州市「平成27年次北九州市観光動態調査」

## 2. 施設を取り巻く環境の整理

### （1）関連計画の整理

北九州市は、観光都市であることを内外に打ち出し、市民とともに北九州ブランド意識をつくることを目標としています。北九州市の主要観光地である門司港地区では、「訪れたいまち」を目指すためには、「住みたいまち」になるべきとの考えから、ハード面だけでなく、市民とともに「観光振興」「まちづくり」の双方の観点からソフト事業を展開し、ブランド意識を育むことを目指しています。

【北九州市の戦略】

**「元気発進！北九州」プラン（北九州市基本構想・基本計画）**

- **北九州ブランドの創造**
- **北九州市の優れた資源を磨くことで生まれる「北九州ブランド」を、市民みんなで育てる**

**北九州市観光振興プラン**

- **歴史と文化のある5つの伝統を活かした観光テーマづくり**

  **～5つの歴史と文化をもつ北九州市が観光地であるということを内外共に打ち出す～**

**「門司港レトロ観光まちづくりプラン」**

- **「訪れたいまち」を目指すためには「住みたいまち」になるべきであるとの考えから、**

  **「観光振興」「まちづくり」双方の視点から、計画づくりを行う。**

## (2) 門司港レトロ地区における観光資源の課題

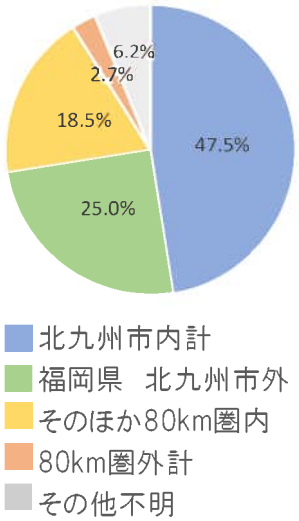
### ① 観光集客

門司港レトロ地区は福岡県、北九州市を代表する観光地として観光客数が増加する一方で、国内観光客の内訳をみると、多くは、近隣からの来訪者となっています。門司港レトロ地区への来訪者を今後も安定的に増やしていくためには、近隣からの来訪者を確保しながらも、広域からの来訪者を増やす必要があります。

参考：北九州市門司区滞在人口（休日14時の滞在人口を各月平均）

休日の門司区（門司港レトロ地区も含む）に滞在している人の来街エリア別人口を比較すると、近隣エリアからの来場が多い。観光庁の日帰り旅行定義圏である80km 圏を参照すると、その内側からの来場者は、約9割となっている。

| 来街地区 | 滞在人口（人） | 構成比 |
|---|---|---|
| 福岡県北九州市小倉南区 | 2,702 | 18.2% |
| 福岡県北九州市小倉北区 | 2,162 | 14.5% |
| 福岡県北九州市八幡西区 | 949 | 6.4% |
| 福岡県北九州市戸畑区 | 461 | 3.1% |
| 福岡県北九州市八幡東区 | 437 | 2.9% |
| 福岡県北九州市若松区 | 360 | 2.4% |
| 北九州市内計 | 7,071 | 47.5% |
| 福岡県　北九州市外 | 3,720 | 25.0% |
| そのほか80km圏内 | 2,759 | 18.5% |
| 80km圏内計 | 13,549 | 91.0% |
| 80km圏外計 | 409 | 2.7% |
| その他不明 | 930 | 6.2% |




出典：経済産業省 「地域経済分析システム From-to 分析（滞在人口） 2015年データ」

注：滞在人口は、指定地域の指定時間に滞在していた人数の月間平均値

注：観光庁では目安として片道の移動距離が80km 以上または、宿泊を伴う8時間以上の移動を旅行としている

●平成27年度門司港レトロ地区主要施設の入館者数

| 施設名 | 入館者数（人） |
|---|---|
| 関門海峡ミュージアム | 479,980 |
| 旧大阪商船 | 200,774 |
| 九州鉄道記念館 | 199,475 |
| 旧門司三井倶楽部 | 211,981 |
| 門司港レトロ展望室 | 177,089 |
| 旧門司税関 | 256,738 |
| 国際友好記念図書館 | 60,559 |
| 旧大連航路上屋 | 189,001 |
| 三宜楼 | 37,140 |

【関門海峡ミュージアムの来訪者データ】

●来館者の居住地

国内の来館者の約4割が福岡県内より来館しており、九州全域を含めると5割強、山口県を含めると約6割を占めている。

| | |
|---|---|
| 北九州市 | 20.0% |
| 福岡市 | 10.3% |
| 福岡県（北九州市・福岡市を除く） | 7.3% |
| 福岡県計 | 37.7% |
| 佐賀県 | 1.7% |
| 長崎県 | 3.3% |
| 大分県 | 6.3% |
| 熊本県 | 3.3% |
| 宮崎県 | 1.0% |
| 鹿児島県 | 1.0% |
| 九州全域計 | 54.3% |
| 下関市 | 2.0% |
| 山口県（下関市を除く） | 3.7% |
| 九州全域・山口県計 | 60.0% |
| 中国地方（山口県を除く） | 2.3% |
| 広島県 | 6.7% |
| 四国地方 | 0.3% |
| 関西地方 | 7.0% |
| 東海地方 | 2.3% |
| 関東地方 | 8.0% |
| その他 | 2.0% |
| 無回答 | 11.3% |
| 総計 | 100.0% |

※構成比は少数第二位で四捨五入しているため，総数と内訳の合計は必ずしも一致しない。

●有料入場者の内訳

海外団体客の伸びが近年みられる。

（単位:人）

| | | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 団体 | 団体一般 | 28,879 | 28,984 | 25,589 | 26,380 | 23,739 | 17,934 |
| | 海外 | 0 | 407 | 855 | 1,984 | 5,675 | 15,513 |
| | 団体計 | 28,879 | 29,391 | 26,444 | 28,364 | 29,414 | 33,447 |
| 個人 | | 78,981 | 84,451 | 81,968 | 74,279 | 71,467 | 77,875 |
| その他 | | 497 | 278 | 407 | 556 | 428 | 386 |
| | 総計 | 108,357 | 114,120 | 108,819 | 103,199 | 101,309 | 111,708 |

●男女別・年代別来館者

男女とも、10～30代が主要な来館者層になっている。

| | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代以上 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体(n=300) | 21.3% | 22.3% | 18.3% | 13.7% | 7.3% | 7.3% | 9.7% |
| 男性(n=129) | 24.0% | 24.8% | 14.0% | 17.8% | 10.1% | 7.8% | 1.6% |
| 女性(n=141) | 23.4% | 24.8% | 26.2% | 11.3% | 6.4% | 7.8% | 0.0% |

●来館者の同行者

男女とも家族連れが多く、女性でその傾向が強い。

| | 一人 | 家族 | 知人<br>友人 | 彼氏<br>彼女 | 夫婦 | バス<br>ツアー | 団体<br>旅行 | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体(n=300) | 9.0% | 36.0% | 15.3% | 9.7% | 3.3% | 2.7% | 11.0% | 2.3% | 10.7% |
| 男性(n=129) | 14.7% | 30.2% | 15.5% | 11.6% | 3.1% | 6.2% | 14.0% | 2.3% | 2.3% |
| 女性(n=141) | 4.7% | 45.6% | 17.4% | 9.4% | 4.0% | 5.4% | 9.4% | 2.7% | 1.3% |

出典：関門海峡ミュージアム「来館者アンケート調査　平成26年4月～平成27年3月」

### ② 市民連携

関連計画にある「北九州市のブランドを生み出し、市民の自信と誇りをみんなで育てていく」ためには、単に施設を整備するだけでなく、市民の活力や発想をミュージアムの運営に積極的に取り込み、その魅力を高めていくことが必要です。

### ③ 市内周遊

北九州市が実施したGPS調査によると、来訪者の市内周遊は非常に少ない状況にあります。門司港レトロ地区ひいては北九州市全域の観光振興のためには、門司港レトロ地区と周辺地域を周遊する観光ルートの開発定着などの仕組みづくりが必要です。

## 3. 施設の考え方

### (1) 基本方針

関門海峡ミュージアムの設置目的である「観光集客」と「教育普及」の目的を継承しながら、市民とともに魅力を高める「共創」という視点、他の観光地との「連携」という視点が必要です。「観光・教育・共創・連携」の視点を踏まえた施設のリニューアルの基本方針を次のように整理しました。

#### ① 雄大な海峡と港町の賑わいを体感する日本唯一の海峡ミュージアム

九州と本州を隔てる関門海峡は、古来、我が国と世界を結ぶ交通の要衝として発展してきました。

我が国の歴史の大転換を決定づける数々の事件の舞台になるとともに、かつて日本で最多の船舶が出入りした門司港には、安全な航海を支え、港町の繁栄を育んできた人々の営々たるドラマがあります。

このミュージアムは、日本の歴史、文化、経済的繁栄を育んできた関門海峡について、体験しながら楽しく学ぶ日本唯一の海峡ミュージアムを目指します。

#### ② 門司港のランドマーク、水先案内を担う拠点ミュージアム

かつて日本一の海運拠点として繁栄した関門地域は、今では、西日本有数の観光地として国内外からたくさんの旅行者が訪れるようになりました。

本州と九州を結ぶ関門橋、激しい潮の流れの中を行き交う船、大正浪漫を今に伝える建造物といった大パノラマを一望できる関門海峡ミュージアムは、これからの観光プランを考え、楽しい非日常に思いをはせる最適なロケーションを有しています。

このミュージアムは、船をモチーフとしたデザインと関門海峡を臨む大眺望を活かし、門司港のランドマークとなり、関門地域の各所に旅行者を誘導する水先案内の役割を担います。

#### ③ 市民の応援で日々進化するミュージアム

国内外の旅行者が「行ってみたい」「また来たい」と思う施設となるには、市民に愛され、親しまれ、応援される施設であることが重要です。

運営に多くの市民が参画し、また、活動拠点として日常的に利用いただくことで、ホスピタリティが高まり、新しいプログラムも生まれます。

このミュージアムは、市民とともに進化、成長し、地域活力の源泉となるミュージアムを目指します。

## (2) リニューアルのコンセプト

施設の基本方針を踏まえ、リニューアルのコンセプトを「ミュージアムからアミュージアムへ」としました。教育を目的としながらも、楽しく学ぶことができる施設として、門司港レトロ地区の活性化に寄与することを目指すものです。

＜リニューアルのコンセプト＞

amusement + museum

**ミュージアムから、アミュージアムへ。関門海峡ミュージアムは、『楽しい学び』があふれる施設に生まれ変わります。**

ミュージアムから、アミュージアムへ。リニューアルのキーワードです。関門海峡の雄大さへと誘う『楽しい学び体験』が関門海峡への新たな視点を来館者にもたらします。何度も楽しめて、楽しむほど興味がわいてくる！リニューアルではそんな好循環を作り出して、施設とまちに賑わいをつくります。

## (3) リニューアルの方向性

リニューアルでは、福岡県、北九州市が、多くの人々が行き交う多様な文化のクロスロードとして発展し、様々な歴史の転換の舞台となった「海峡」をテーマに、訪れる人が楽しく海峡を学べるようストーリーの再構成を行います。最新のデジタルテクノロジーによる演出を駆使し、市民参加によるさらなる魅力向上を目指します。それぞれの詳細は以下に示すとおりです。

**1. デジタルテクノロジーを駆使した演出で海峡の魅力を引きだします**
拡張現実など、先端のデジタルテクノロジーを用いた演出を行うことで、関門海峡の隠された魅力を浮き彫りにします。

---

**2. 忘れがたいストーリーで、リピート訪問を呼び込みます**
関門海峡をより一層魅力的にみせるテーマやストーリーを展示に持たせることで、来館者に何度も訪れたいと思ってもらえるような施設づくりを目指します。

---

**3. 地域連携で、地元の人たちの集うミュージアムになります**
地域との連携のもと、イベントや物販など様々なプログラムをミュージアムで開催、地元の人たちが何度でも集い、楽しめるミュージアムを目指します。

## (4) 集客の考え方

### 考え方1：ファミリー層の集客力の強化

関門海峡ミュージアムの「楽しく学ぶ」というコンセプトを活かし、子育て世代を中心とする「ファミリー層」のさらなる集客を図ります。

### 考え方2：門司港レトロ地区来訪者を中心とした広域観光客集客力の強化

門司港レトロ地区には２００万人を超える多くの来訪者があります。関門海峡ミュージアムに国内の様々な地域から来訪者を呼び込むことで、ミュージアムの入場者増、ひいては門司港レトロ地区への来訪者の増加を目指します。

また、全国各地からの集客に加え、インバウンドの受け入れなど広域的な集客力の強化にも取り組みます。

# Ⅱ.　各ゾーンの魅力向上方策

## 1．展示計画

### （1）現施設評価

「関門海峡ミュージアム」は、「海峡」が歴史を切り拓き、まちを拓いてきた世界に誇れる財産であることから、「海洋・船舶・歴史」を主な展示コンテンツとし、なかでも、「関門海峡にまつわる歴史ドラマ」がメインテーマとして扱われています。

前述のとおり、「関門海峡ミュージアム」は、入場者数が年間４０万人を超える門司港レトロ地区の観光の拠点施設でありますが、開館以来１３年が経過し、大規模な展示更新工事も無かったことから、有料展示ゾーンの入場者は、近年は約１０万人で推移しています。

施設の評価では、「どのような施設かよくわからない」、「存在を知らなかった」という声が寄せられており、リニューアルにあたっては、本施設の魅力をわかりやすく伝える工夫が必要です。

また、展示部分では、施設の中核部分である「歴史ドラマ」を映像化した「海峡アトリウム」の満足度が低く、映像の内容に関する要望も多く寄せられています。

このため、関門海峡の歴史、自然といった魅力をわかりやすく伝えることができるよう施設全体にストーリー性を持たせるとともに、施設での体験が心に刻まれ、「また訪れたくなる」、「人に良さを伝えたくなる」施設となるようアトリウムを中心に全体の展示内容や移動の順路を大幅に見直すこととします。

## (2) リニューアル計画

### ① 展示コンセプト

# 「海峡ドラマシップ」の旅

巨大客船をイメージして建築された関門海峡ミュージアム。

関門海峡ミュージアムを時空を超えて航海する「海峡ドラマシップ」に見立て、来館者を現在、過去、未来の関門海峡への旅に誘います。

リニューアルでは、最新の映像技術を駆使し、あたかも現実の海峡ドラマの中に身を置いたような空間を演出するとともに、地域の皆さんとの温かい交流を楽しむことができる、体験型・参加型の施設を目指します。

## ② 展示構成

### 展示の構成

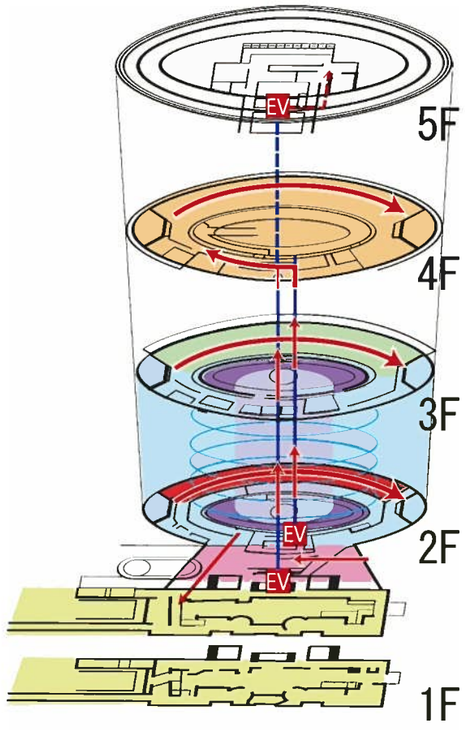
「海峡ドラマシップ」の旅というコンセプトを受け、波止場から乗船し、関門海峡の歴史、文化、自然をあたかも船とともに旅するイメージを演出する展示構成に見直します。

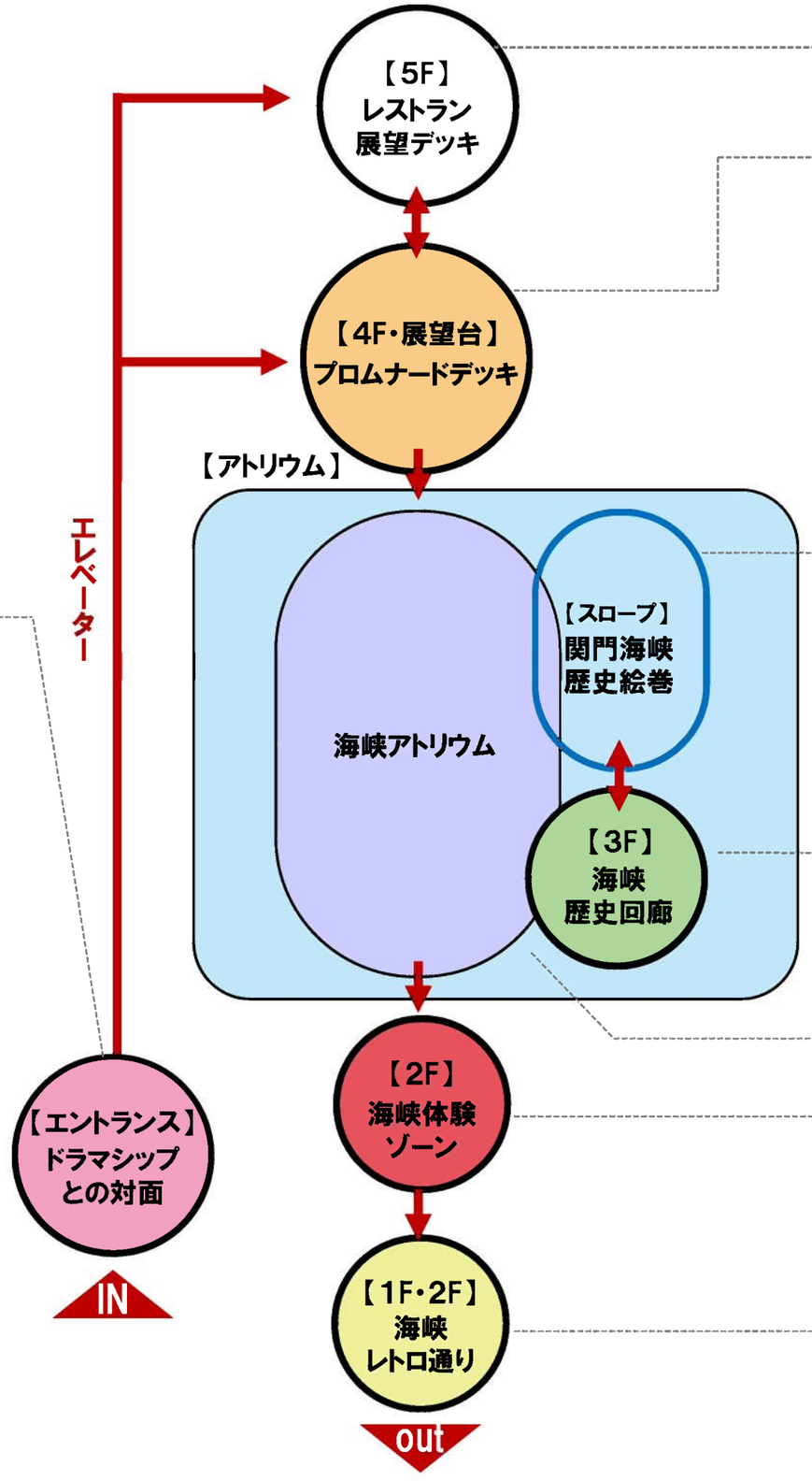
### 動線計画

入館者がストーリーを感じながら、楽しく快適に館内を巡ることができるよう、現在の下（1階）から上への動線を上（4階）から下に見直します。

**豪華客船が接岸した波止場**

既存の船形の壁とボーディング・ブリッジ風の連絡通路を活用し、「ドラマシップ」が接岸した波止場にリニューアル。楽しい旅の始まりを予感させ、入館者のわくわく感をかき立てます。




**関門海峡の雄大な眺めの中で、食を満喫**

最上階は、展望レストラン。地元産の新鮮な食材と、関門海峡の雄大な眺望を同時に楽しむことができます。

**絶景広がる待合室**

豪華客船の甲板（デッキ）をイメージした待合室にリニューアル。
誰でも気軽に立ち寄れるラウンジとし、観光案内所、海峡を見下ろすカフェなどを併設します。
雄大な関門海峡とレトロ地区を一望しながら、旅のプランを思い描き、各ゾーンへの興味をかき立てます。

**絵巻物で再現する海峡ヒストリー**

アトリウムを取り巻く長いループ状のスロープ。動線をこれまでの上りから下りにすることで入館者が快適に移動できるようにします。
アトリウムで実施されている映像鑑賞に加え、壁面に絵巻物をイメージしたイラストやプロジェクションマッピングにより、関門海峡の歴史ドラマを再現。現代から過去へ時代をさかのぼりながら、楽しく海峡の歴史を学びます。

**人形が語る海峡ドラマ**

歴史を下るスロープの途中に位置する展示室。海峡の歴史ドラマを国内外の著名作家が制作した人形により再現した既存の展示を、楽しく、わかりやすく見学できるようリニューアルします。

**巨大映像に包まれ海峡を体感**

最新映像技術を駆使し、360度の多重スクリーンにより、空中、海中といった通常では経験できない位置から、現代、過去、未来の海峡ドラマを迫力のある映像で体感できる空間を創ります。

**海峡リアル体験**

関門海峡を航行する船の操船シミュレーション、世界の海峡を巡るオペレーションゲーム、関門海峡に生息する魚の釣り体験、海の安全を守る海峡の仕事体験など海峡を楽しく体験するゾーンを新たに整備します。

**大正浪漫あふれる門司港**

ドラマシップを降りれば、懐かしい昔の門司にタイムスリップ。既存の造作を活かしながら、よりリアルに大正浪漫の雰囲気を味わえるよう作りこみを行います。
例えば、大正時代のコスプレ体験、テナント出店や多目的ホールでの企画イベントといった体験・交流機能を充実します。
これまでどおり、エントランスから直接入場できるゾーンとします。

## 2. 各ゾーンの魅力向上方策

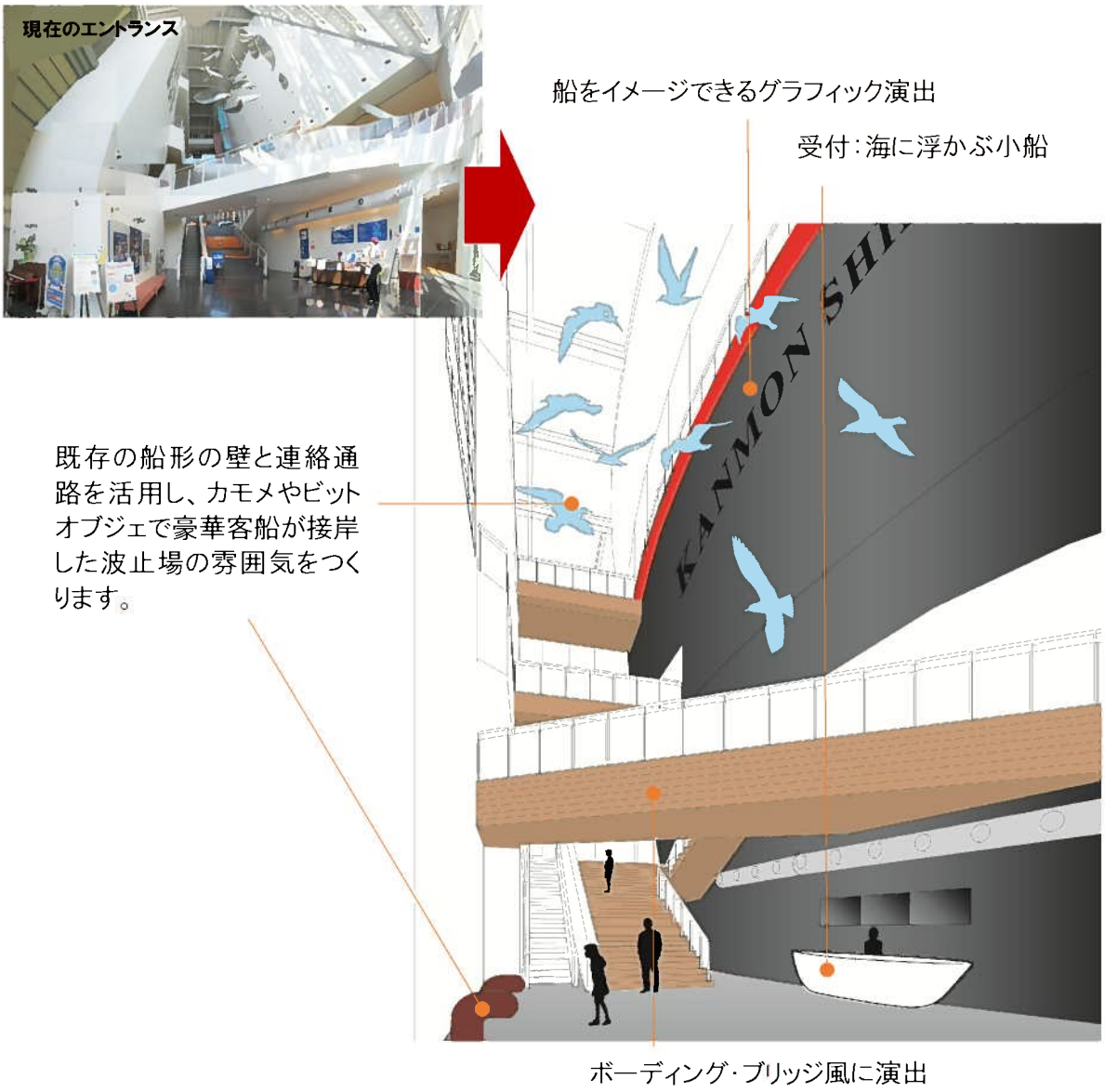
### (1)【1階】エントランス

**エントランスはドラマシップが接岸した波止場**
**来館者を別世界へと誘います**

エントランスは船型をイメージしたものとなっていますが、分かりにくいため、グラフィックで船をはっきりイメージさせるとともに、連絡通路をボーディング・ブリッジ風に演出します。

ドラマチックに来館者を迎えるエントランスにイメージアップすることで、来館者にこれから始まる「海峡ドラマシップの旅」を強く意識させ、期待感を高め、各ゾーンへの入館を誘導します。

**リニューアルイメージ**



## (2)【4階・展望台】プロムナードデッキ

### 4階は豪華客船のラウンジ
### 関門海峡の絶景を見下ろしながら、乗船へのキモチを高めます

関門海峡の絶景が広がり、抜群の眺望を誇る４階スペースをラウンジとし、海峡を見下ろすカフェ、観光案内所を併設します。ゆっくりとくつろいだ雰囲気の中で、旅のプランを思い描き各ゾーンへの興味をかき立てます。

**リニューアルイメージ**

海峡を眺めるカフェや、観光案内所を配置します。

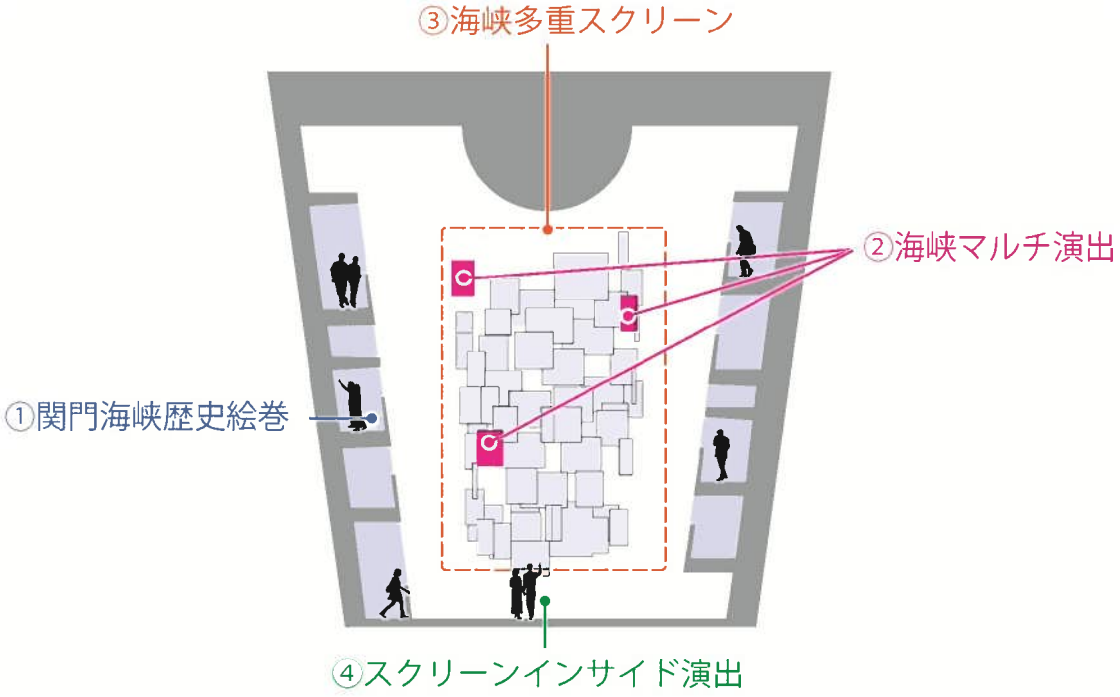
大正から昭和にかけて航行した豪華客船をイメージした内装を施します。

## （3） 海峡アトリウム

### アトリウムに入れば、そこは潮流空間
### 360度のスクリーンに、時空を超えた海峡のドラマが甦る

我が国と世界を結ぶ交通の要所として、歴史の大転換の舞台となった関門海峡。海峡が育んできた無数のストーリーを掘り起し、３６０度の多重スクリーンで海峡ドラマを体感できます。

**リニューアルイメージ**




| 演出モード | 概要 |
|---|---|
| ①関門海峡歴史絵巻 | アトリウムを取り巻くスロープの壁面に、海峡の歴史を体感する演出を行います。 |
| ②海峡マルチ演出 | スロープに配置したタブレットを操作すると、多重スクリーンに海峡にまつわるストーリーが現れます。 |
| ③海峡多重スクリーン | 数十枚のスクリーンを組み合わせた360度の多重スクリーンを用いて大迫力の映像を体験します。 |
| ④スクリーンインサイド演出 | 多重スクリーンに囲まれた中で、例えば海中から海上に浮かび上がるような未知の空間を楽しむ演出を行います。 |

アトリウムは、中央の多重スクリーンを中心に、スロープの壁面も活用し、バリエーション豊かな演出で来館者を楽しませます。

## （3） 海峡アトリウム

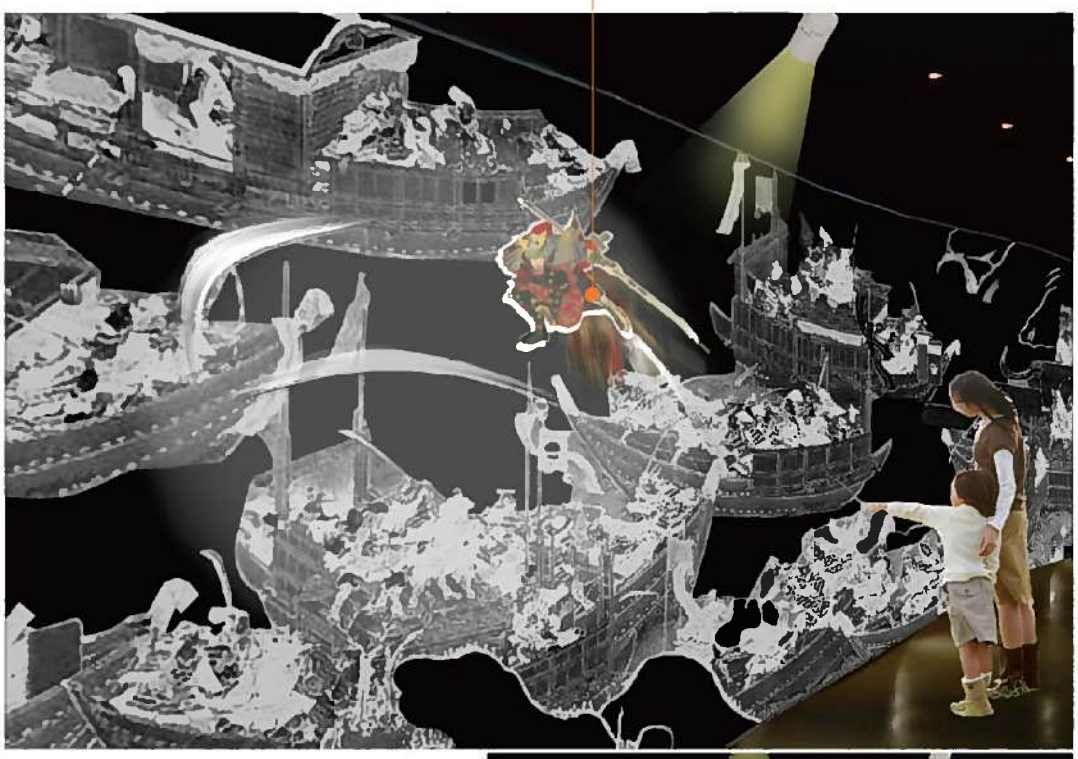
### ＜演出モード① スロープでの演出 関門海峡歴史絵巻＞

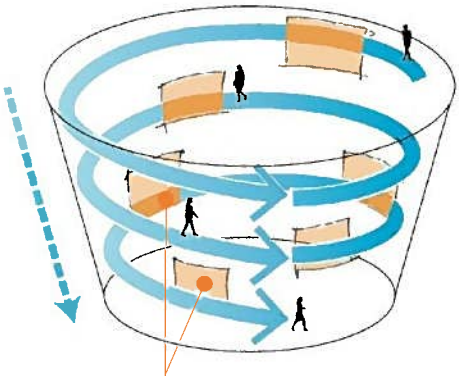
### 現代から過去へ、歴史回廊

関門海峡にまつわる歴史絵巻をスロープ壁面に展開。人の動きに合わせて壁面の画像が反応するインタラクティブ（双方向）システムによる歴史ドラマを体験。長いスロープを移動する間も、楽しく海峡の歴史ドラマを楽しめます。

**演出イメージ**

人の動きにあわせて画像が動き回る！インタラクティブ歴史絵巻





スロープの途中に歴史キャラクターが動き出す仕掛けを設置

来館者の動きに合わせて歴史キャラクターが動き出す仕掛けや、歴史ドラマを描いたイラストが壁面から飛び出して動き出す仕掛けを施します。

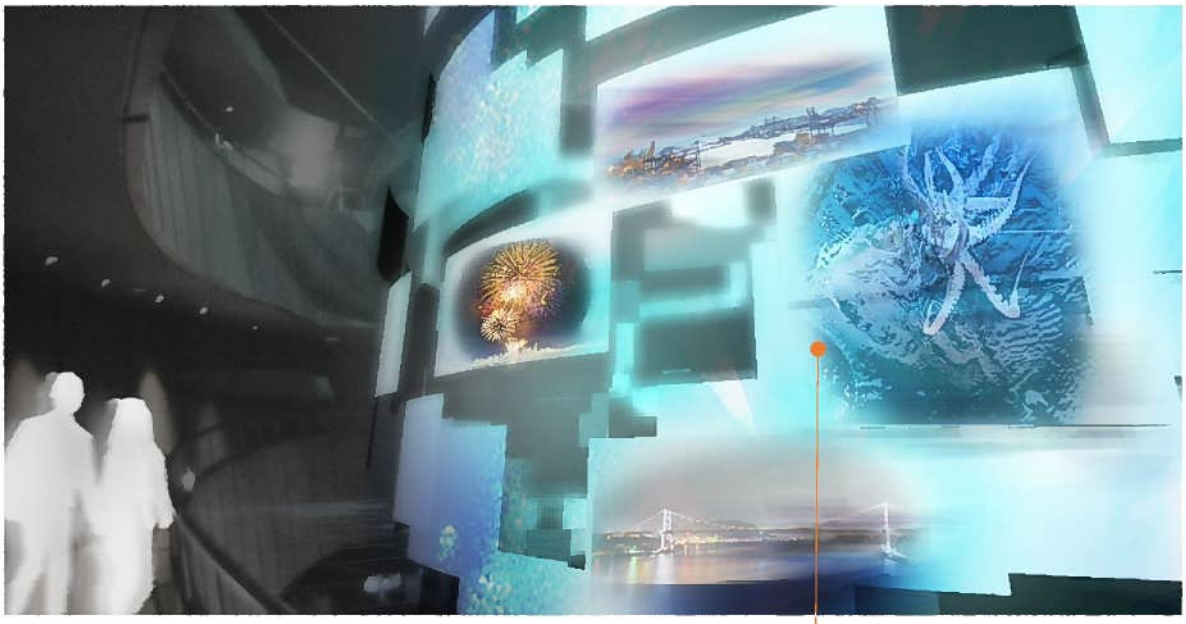
## （3） 海峡アトリウム

### ＜演出モード② スクリーン単体での演出 海峡マルチ演出＞

**海峡が育んだ数々のストーリーをみせる！**

スロープに設置したタブレット端末に触ると、アトリウム中央のスクリーンに投映された数々の海峡ドラマを楽しむことができます。

**演出イメージ**



スクリーンの所々で浮かび上がるストーリー。その詳細はスロープに設置したタブレットで詳しく知ることができます。

【タブレット操作イメージ】
スロープに設置したタブレット端末で個別映像の詳細な情報が分かります。

【海峡マルチ演出案】

**関門海峡の生態系**
① スナメリの愛らしい姿を、その生態系と共に
② 関門海峡の名物でもあるフグ、マダコの一生

**関門海峡の観光・交通**
① 関門海峡の夜景の姿を花火とともに
② 船がひっきりなしに通る関門海峡の様子

**関門海峡の文化・民俗**
① 関門海峡を描いた文学作品、映像作品
② 関門海峡から広がる食文化

など